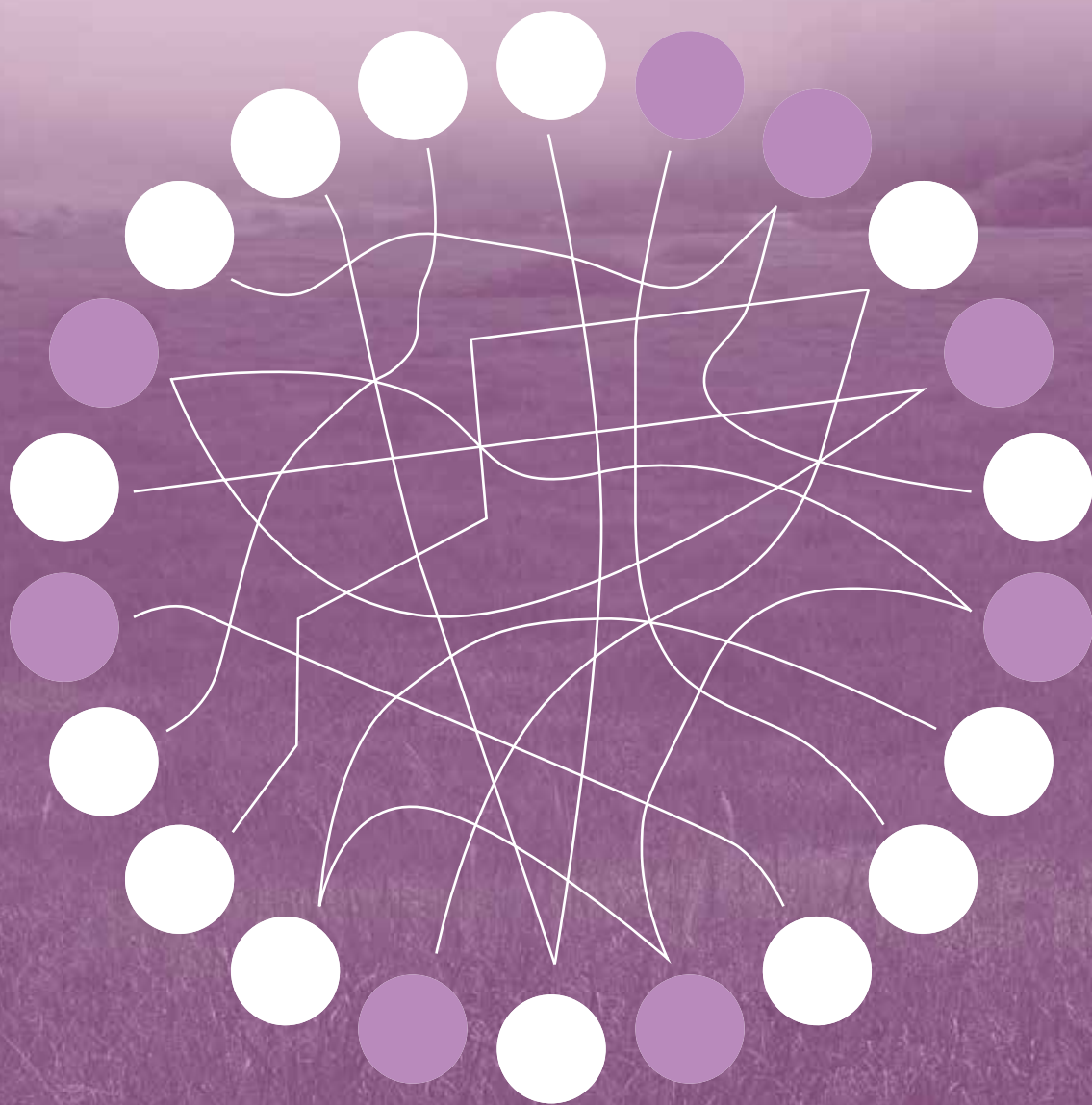


# 22の音素による音会幻想

松澤宥生誕 100 年祭まちなか展覧会  
サウンドインスタレーション & パフォーマンス



日時 2022年2月13日(日)

会場 下諏訪町立諏訪湖博物館赤彦記念館 エントランス

- パフォーマンス①14:22～ 宮坂了作 パフォーマンス
- パフォーマンス②15:22～ 北澤一伯 パフォーマンス
- パフォーマンス③16:22～ 宮坂遼太郎 パフォーマンス
- 音響設置 13:00～17:00 百瀬 登 (この間、不定期に音が流れます)

## 音会幻想で使用する音響素材募集

このインスタレーションにおいて使用する音素材を募集します。

テーマ「松澤宥から想起される音素材を下諏訪に送ってください。」

ご自身で作成した音の素材を、デジタルデータ (WAV, mp3 などのフォーマット) にして、100 年祭実行委員会 (担当: 百瀬) まで送ってください。長さは数秒から数分程度、音質 (録音フォーマット bit 等) については任意。送り先: artperform@gmail.com メールにてご連絡いただき、受け付け後可能な方法で送信していただきます。締め切り日: 2021/1/11

問い合わせ先: 松澤宥 100 年祭実行委員会 スワニズム美術部 百瀬登

松澤宥生誕 100 年を記念して、松澤芸術からインスピレーションを受けた音響の体験を構築します。松澤宥は、コンセプチュアルアート (観念芸術) の世界的第一人者ですが、その多岐にわたる活動の中で、平面作品や詩とともに、かたちが不定なパフォーマンスと捉えられる表現がありました。常に新しい文化や技術に注目し、先進的な芸術を思索していた松澤。音との関わりについては興味がそそられるところです。たとえば、泉水入瞑想台にてかつて行われた音会とは、どのようなものだったのでしょうか。今は想像するしかありませんが、ここには芸術家同士の交流と、その場限りの強いアートの力、闇夜に響き渡る音の世界があったのでしょうか。松澤の芸術に影響され、その世界を今のわたしたちが幻想するために、今回のサウンドインスタレーション (音響設置作品) を企画しました。さらにこの会場にてパフォーマンスアートが展開されます。